



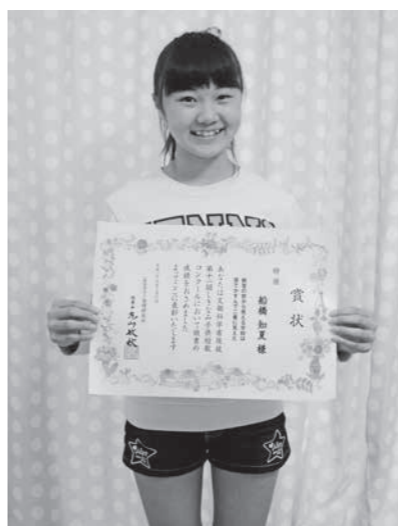
第11回しきなみ子供

短歌コンクールで特選

船橋知夏さん(樋上・12歳)

日本の伝統文化の継承に貢献することを理念に掲げ、子供たちの国語力を培い、豊かな人間性を育成するため、全国の小学生を対象に開催されているしきなみ子供短歌コンクール。今年

は全国6万4千696人も応募の中からわずか20人の特選に選ばれた船橋知夏さんを紹介し



ます。船橋さんは小学校低学年の頃から読書感想文をはじめとする作文コンクールで何度も受賞している他、思ったことを日常的に五・七・五のリズムに乗せて表現する言葉遊びが好きだったというエピソードからも表現力が豊かであることがうかがえます。

「した」と語ります。そして、小学6年生の夏休みの課題として詠んだのが今回受賞した『病室の窓から見える学校は涙でかすんで二重に見える』という歌です。小学5年生の秋に虫垂炎にかかった船橋さんは、それまで大きな病気や怪我などを経験したことがなく、入院や手術などは初めての経験だったそうで、その時の心情を『病院からは学校が見えました。今まで近かった学校が、病室の窓から見るととても遠く感じ、1週間ほどの入院だったけれど、先生やクラスメートに会えなくて、とても寂しい気持ちになりました』と振り返ります。

その後、3月6日に東京都港区にあるニッショーホールで行われた表彰式に臨んだ船橋さん。壇上では一人一人の受賞作品が紹介され、表彰状が手渡しされたそうです。『表彰式では大勢の人たちがいて驚きました。受賞後は先生や友達から『すごいね』と祝福されてとてもうれしかったです。小学校生活の良い思い出になりました。私にとって入院は辛いものだったけれど、立派な賞を頂くことができ、人間が経験することに無駄なことはないのだと思えました』とはにかみです。

この春に中学に入学した船橋さんは「体を動かすことも好きなので、中学ではまた新しいことに挑戦していきたい」と抱負を語ります。たくさんの希望が詰まった中学校生活はまだ始まったばかりです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

- 俳句
富士見町 鈴木スイ子
満開の桜散らして鳥立ちぬ
棚田町 財津ミチエ
笹舟を流す七瀬の水温む
持田 伊藤 洋子
ほろ苦き青春もあり露の臺
荒木 藤田 栄之
忍城の水にたゆたふ柳影
須加 天沼 広吉
上州の梵鐘の音や春うらら
藤原町 上原ミサ子
母の日や胸のブローチおどらせて
荒木 藤田 明枝
花冷えや夫とひととき珈琲店
城南 橋本千枝子
白蓮に風やはらかき夕べかな
南河原 今村 文女
芽吹きにも遅速ありけり屋敷林
樋上 吉澤とし子
菜の花のお浸し添えて夕餉かな
矢場 高田みつ子
ペダル踏む少女の膝の春めけり
城西 新井 禮子
色どりに愚作の瓶に木瓜入れる
矢場 鈴木かづの
春めきて庭師の袂かろやかに
荒木 森田 静
花まつり若き僧侶の顔やさし
忍 飯島 素子
写経して安らく日々の彼岸かな
持田 田子 敏枝
母の忌や供えし桜餅五つ
城西 鈴木 正夫
友見舞う八十路に敵し彼岸西風
斎条 小林 英与
陸奥に今も爪痕遠い春
荒木 高澤よね子
黄水仙幼き頃の師と語る
清水町 斉藤 文子
春めくや小さな旅のプラン練る
(三沢 一水 監修)

はじめまして



平成27年7月生まれのお子さんを募集します

○5月2日(月)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、6月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成27年 5月生まれのおともだち ★★★



吉岡 宗寿郎ちゃん(北河原)
平成27年5月26日生まれ
父・寿人さん 母・佑子さん
「我が家の宝。大好きだよ!」



鈴木 春翔ちゃん(埼玉)
平成27年5月25日生まれ
父・裕己さん 母・八重さん
「素直で元気に育ってね!」



小島 響輝ちゃん(若小玉)
平成27年5月1日生まれ
父・俊一さん 母・ひとみさん
「笑顔いっぱいありがとう!」



吉原 みれいちゃん(城西)
平成27年5月3日生まれ
父・孝紀さん 母・めぐみさん
「元気に育ってね!」



木村 桃嘉ちゃん(桜町)
平成27年5月7日生まれ
父・諭使さん 母・美加さん
「元気にすくすく育ってね!」



新井 仁瑚ちゃん(長野)
平成27年5月12日生まれ
父・紘介さん 母・恵理さん
「にこにこ元気に育ってね!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

有限会社 近藤電機製作所

高い技術力で機械の動作制御を支える



会社プロフィール

代表取締役 坂東 春男
【事業内容】電気機械器具製造業、シャッター制御盤
【住所】持田2-3-24

有限会社近藤電機製作所は、公共施設や商業施設などで使われるシャッター用の制御盤やリミットスイッチの設計・製造を手掛けている会社です。シャッターに組み込まれた同社の制御盤は、昇降運動をコントロールする役割を担い、降下中のシャッターの下にいる人を検知し、停止させるといった安全装置としての機能も備えています。リミットスイッチは、シャッターを任意の位置で停止させることができ、2つの装置を組み合わせることで正確な動作と高い安全性を実現することができます。代表取締役の坂東春男さんは「設計から組み立てまでを一貫して行うことで、お客様の要望に沿った製品を提供することができま

す。動作の正確性と安全性が評価され、最近ではシャッター以外にも最先端車両やMRI・CTといった精密医療機器、さらには舞台装置などさまざまな機械の動作制御に活用されているんですよ」と話してくれました。特に照明や仕掛けなど複雑な動きが求められる舞台装置で重宝され、全国の劇場で同社の製品が使われているそうです。そんな高い品質を誇る製品を支えているのは、経験によって培われた確かな技術力。同社で働く社員は、全国各地で年間数百件に上る現場を経験することで日々技術に磨きをかけています。また社内研修を通して、ベテラン社員から若手社員への技術指導や専門資格の取得に取り組んでおり、会社をあげて技術力の向上と社員の育成に力を注いでいるそうです。今後について坂東さんは「現在は制御盤などを使用者が直接手で調整する方法が主流ですが、これからは電子機器で調整する方法が増えていくと感じています。時代の流れに合わせた提案ができるように、今ある製品に付加価値をつけていきたいですね」と決意をにじませます。進化を続ける同社の製品は、これからも私たちのすぐ身近で活躍し、生活を支えてくれることでしょう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

「市報ぎょうだ」4月号28ページの「いいきいき行田人」のコーナーで、山口さんのお名前表記に誤りがありました。正しくは「山口珠季」さんです。おわびして訂正させていただきます。